

令和5年度

鵜住居地区施設再編事業に伴う工事用道路整備工事（単独）

岩手県釜石市

実 施  
竣 功  
第 一 回 出 来 形  
第 一 回 変 更

工 事 設 計 書

実 施 竣 功 出 来 形					
所 長	所長補佐	所長補佐	設 計	精 算	工務係
変 更					
所 長	所長補佐	係 長	設 計	精 算	工務係

釜石市 鵜住居町 地内

鵜住居地区施設再編事業に伴う工事用道路整備工事（単独）

工 費 金

円也

上 段 原 設 計

下 段 変 更 設 計

工 事 の 大 要	名 称	延長、巾員等	単位	数 量 等
	施工延長		m	144.4
	掘削工		m3	3,960.0
	法面整形工		m2	1,190.0
	砂利舗装工		m2	541.0
工事 日数	令和5年8月31日まで 附 与 日			

摘 要

釜 石 市

令和5年度

鵜住居地区施設再編事業に伴う工事用道路整備工事（単独）

設

計

書

（金抜き）

釜石市

直 接 工 事 費 総 括 表

鶴住居地区施設再編事業に伴う工事用道路整備工事（単独）

No. 1

種 目	施 設 別	工 種 別	規 模 及 び 形 状 寸 法	金 額	管 材 費	機 器 費	備 考
本工事費							
	配水施設	付替工事用道路 （一次施工）	切土・盛土，法面整形，砂利敷等 1式				内訳書1号
		防塵対策工	1現場（ダンプ泥落装置，散水車）				防塵対策工 内訳書
		交通誘導員	交通誘導員A N=33人, B N=33人 （道路工事搬入出口×1人，R45号工事搬入出口×1人）				交通誘導警 備員内訳書
		直 接 工 事 費 計					

工 事 費 総 括 表

鵜住居地区施設再編事業に伴う工事用道路整備工事（単独）

名 称	当 初 設 計		変 更 設 計	
	算 出 根 拠	金 額	算 出 根 拠	金 額
直接工事費				
支給品費				
対象額控除額	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>		<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	
共通仮設費	(1) 率による共通仮設費 <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>		<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	
純 工 事 費				

# 工 事 費 総 括 表

鶴住居地区施設再編事業に伴う工事用道路整備工事（単独）

名 称	当 初 設 計		変 更 設 計	
	算 出 根 拠	金 額	算 出 根 拠	金 額
現場管理費				
工 事 原 価				
一般管理費				
工 事 価 格				
消費税相当額				
工 事 費				
請負工事費				
消費税相当額				
請負契約額				

# 付 替 工 事 用 道 路 ( 一 次 施 工 ) 工 事 設 計 書

## 1. 工事計画概要

切土・盛土，法面整形，砂利敷等 1式

[illegible]



[illegible]

小計

# 防 塵 対 策 工 内 訳 書

1. スパッツ，散水車内訳

[illegible]

# 交 通 誘 導 警 備 員 内 訳 書

1. 交通誘導警備員内訳



[ 釜 石 市 ] 採用月：令和 5 年 4 月単価  
[ ( 鶴 住 居 地 区 ) 付 替 道 路 工 事 ] 作成日：令和 5 年 4 月 13 日

【 金 抜 】

一 位 代 価 表

# 一位代価総括表

変更 (回数)	番号	名 称	形 状 寸 法	単位	単 価	摘要 1	摘要 2
	1号	掘削	土砂 片切掘削	m3			
	2号	掘削	土砂 オフソカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	m3			
	3号	路床盛土	2.5m未満	m3			
	4号	路床盛土	2.5m以上4.0m未満	m3			
	5号	路床盛土	4.0m以上 10,000m3未満 障害無し	m3			
	6号	積込(ルース)	土砂 土量50,000m3未満	m3			
	7号	土砂等運搬	標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID無し 7.5km以下 良好	m3			
	8号	残土処理費	松村建設	m3			
	9号	法面整形	切土部 現場制約無し ㈬質土、砂及び砂質土、粘性土	m2			
	10号	法面整形	盛土部 法面締固め無し 現場制約無し ㈬質土、砂及び砂質土、粘性土	m2			

# 一位代価総括表

変更 (回数)	番号	名 称	形 状 寸 法	単位	単 価	摘要 1	摘要 2
	11号	砂利舗装工(機械) 10cm	敷均し幅2.5m以上 バックホ 舗装面仕上有 RC-40	m2			
	12号	防塵処理工	延長200m 給水場迄2000m	回			
	13号	ダンプ泥落装置	湿式 基本料	台			
	14号	ダンプ泥落装置	湿式 賃料	台・日			
	15号						
	16号						
	17号						
	18号						
	19号						
	20号						



掘削  
土砂 片切掘削

( 1号代価表 )

1 m3当り

[illegible]

( 2号代価表 )

1 m<sup>3</sup>当り

[illegible]

路床盛土  
2.5m未滿

代価表

( 3号代価表 )

1 m<sup>3</sup>当り

[illegible]

( 4号代価表 )

1 m<sup>3</sup>当り

[illegible]

( 5号代価表 )

1 m<sup>3</sup>当り

[illegible]

( 6号代価表 )

1 m<sup>3</sup>当り

[illegible]

## 7号代価表

標準 バック山積0.8m<sup>3</sup>(平積0.6m<sup>3</sup>) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID無し 7.5km以下 良好 (

7号代価表

[illegible]

( 9号代価表 )

1 m<sup>2</sup>当り

[illegible]



10号代価表

盛土部 法面締固め無 現場制約無 土質土、砂及び砂質土、粘性土

10号代価表 )

1 m<sup>2</sup>当り

[illegible]

( 11号代価表 )

100 m<sup>2</sup>当り

[illegible]

防塵处理工  
延長200m 給水場迄2000m

代価表

( 12号代価表 )

1 回 当 り

[illegible]

[ 釜 石 市 ] 採用月：令和 5 年 4 月単価  
[ ( 鶴 住 居 地 区 ) 付 替 道 路 工 事 ] 作成日：令和 5 年 4 月 13 日

【 金 抜 】

二 位 代 価 表

## 二 位 以 下 代 価 総 括 表

変更 (回数)	番号	名 称	形 状 寸 法	単位	単 価	摘要 1	摘要 2
	1号	パッパ (排対2次)	クロー型・山積0.28m3 (平積0.2m3)	時間			
	2号	振動ロー (賃料)	質量3~4t	日			
	3号	散水車	トラック架装型・タンク容量5500~6500L	時間			
	4号						
	5号						
	6号						
	7号						
	8号						
	9号						
	10号						

( 1号单侧表 )

1 時間当り

[illegible]

( 2号单衲表 )

[illegible]

1 日 当 り

( 3号单衲表 )

1 時間当り

[illegible]



# 仕 様 書

釜石市水道事業所

## 仕 様 書

### 一般事項

#### (摘要範囲)

1. この工事標準仕様書（以下仕様書という）は、請負者（以下乙という）が請負により施工する各種工事に適用するものとする。
2. この仕様書に定めのない事項は、別に特記仕様書で定めるものとする。
3. この仕様書の定めと、特記仕様書の定めが異なるときは、特記仕様書によるものとする。

#### (諸法規の適用)

1. 本工事の施工に当たっては、別紙図面、設計書及び請負契約書によるほか、水道工事標準仕様書（日本水道協会）、土木工事仕様書、特記仕様書に準拠するものである。

#### (工事管理)

1. 承認された工程表に基づく工事施工の時期、順序並びに工程表の変更等については監督員の承認を得なければならない。
2. 請負者は実施工程表、工事日誌、材料受払い簿の帳簿を備え、監督員の要求により工事日報を提出し、所長簿の点検を受け、又毎月の出来高工程を翌月の2日までに報告しなければならない。
3. 工事施工の都合上、夜間作業を必要とするときは、あらかじめ監督員の承認を得なければならない。又監督員が工程管理あるいは、現場管理上必要と認めたときは、夜間作業を命ずることがある。

#### (現場管理)

1. 工事箇所及びその周辺にある地上及び地下の既設構造物に対しては、工事施工に伴い支障を及ぼさないように、関係主と協議の上、所要の処置をしなければならない。
2. 工事現場内及びその周辺には、所要の標識、標識灯、防護柵、及び立入禁止の立札等を設備し必要に応じ照明設備を設け、あるいは信号員、見張員を置く等一般公衆及び作業員の安全を確保するための万全の施設をしなければならない。

(品質管理)

1. 請負者は、工事施工中絶えず品質管理を行い、監督員から要求のあった場合は、その結果を提出しなければならない。

(工事写真)

1. 請負者は監督員の指示により、工事竣工後外部から明視、測定等ができなくなる箇所、竣工後までに撤去する仮設物、あるいは竣工後までに残存しない維持的物件の施工状況並びに重要な工事階段等の工事状況を撮影し、その都度監督員に提出しなければならない。
2. 工事写真の提出部数は一部とし、大きさは特に監督員が指示する場合のほかは、サービス版とする。
3. 写真は設計図書に基づき構造物の施工状況、出来高、品質管理等工事の進行とともに、その実態が検査時において確認できる様にし、特に水中又は地下に埋設する箇所に重点をおいて撮影するものとする。

(黒板明示)

(官公署及び民間との交渉、協力)

1. 請負者は工事中関係官公署、その他と密接に連絡して充分強調を保つとともに工事現場に関係ある一般民間人に対しても親切を旨として工事の円滑な運営を図らなければならない。
2. 請負者が工事施工のために必要とする関係官公署、その他に対する諸手続きは、工事に支障のないよう遅滞なく処理しなければならない。

(工事検査)

1. 工事の出来高検査にあたっては、請負者又は、現場代理人及び主任技術者は必ず立ち会わなければならない。
2. 請負者は検査方法について異議を申し立てることができない。

(請負者の負担)

1. 請負者は設計図書及び仕様書に明示していない費用であっても、工事施工上、当然必要と認められるものは、これを負担しなければならない。

(材料)

1. 工事用材料は、設計図書又は、仕様書に品質、規格を明示したもの  
のほか J I S の規格のあるものにあっては、これに合格するものとし、  
すべて使用前に監督員の検査に合格したものでなければならない。

(材料試験及び検査)

1. 工事用主要材料は、必要に応じ材料試験を行い監督員の承認を受け  
なければならない。
2. 試験又は、検査に合格した材料でも使用時において変質又は、不良  
品となったものは使用してはならない。

(現場発生品)

1. 工事施工により生じた現場発生品及び残土等は、すべて監督員の指  
示に従い処理するものとする。

(埋戻し)

1. 掘削土砂の埋め戻しにあたっては、その順序方法等について監督員  
の指示を受けなければならない。

(建設業退職金共済証紙購入状況報告書等)

1. 建設業退職金共済証紙購入状況報告書を工事契約締結後 1 か月以内に  
発注者に提出しなければならない。また、建設業退職金共済証紙を購入  
しない場合は、建設業退職金共済証紙不購入理由書を発注者に提出しな  
ければならない。
2. 工事請負金額が 1,000 万円を超える場合、建設労災補償共済制度加入  
状況報告書を工事契約締結後 5 日以内に発注者に提出しなければならない。

## 特 記 仕 様 書（当初）

釜石市水道事業所

### 1. 適用範囲

- ・ この仕様書は、釜石市水道事業所の発注する、「鵜住居地区施設再編事業に伴う工事用道路整備工事（単独）」に適用する。
- ・ この特記仕様書に記載されていない事項については、釜石市水道工事標準仕様書及び岩手県県土整備部発行「土木工事共通仕様書」によるものとする。

### 2. 週休 2 日工事

- ・ この工事は、週休 2 日工事（受注者希望型）又は週休 2 日交代制工事（受注者希望型）である。「※実績（現場閉所状況、休日率等）により変更、精算」
- ・ 受注者は、契約後速やかに、週休 2 日の実施の有無について、監督職員と協議すること。
- ・ 実施にあたっては、「岩手県県土整備部週休 2 日工事実施要領」に基づき行うこと。なお、週休 2 日に取り組むことを理由に工期の延長は行わない。

### 3. 関連する他工事

- ・ 関連して本工事の工程が影響を受ける他の工事
- ・ 「鵜住居地区施設再編事業に伴う工事用道路整備及び配水池造成工事」

### 4. 関係機関等との協議

- ・ 「釜石地方森林組合」「鵜住居小学校」「釜石東中学校」「鵜住居幼稚園」  
「その他周辺町内会」  
受注者は上記関係機関との協議に監督員と同席し、誠意をもって十分協議の上、工事実施することとする。

### 5. 工事一時中止措置

- ・ 工事請負契約書別記第 20 条に基づき、工事を一時中止する場合の取扱いは、「工事の一時中止に係るガイドライン(案)」（平成 28 年 7 月岩手県県土整備部）によることとする。

### 6. 設計変更について

- ・ 設計変更については、工事請負契約書別記第 18 条～第 24 条及び共通仕様書第 1 編 1-1-1-14～1-1-1-16 に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン」（釜財発第 77 号令和 2 年 4 月 13 日「工事請負契約における設計変更ガイドライン」の施行について）によることとする。

### 7. 法定外の労災保険の付保

- ・ 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

### 8. 使用資材の品質規格等

- ・ 石材等  
再生クラッシャーラン RC40

9. 用地関係

- ・工事用仮設道路、資機材置場等の借地については水道事業所において、事前協議している箇所「有」、工事着手前に監督員と協議を行うものとする。

10. 仮設ヤード

- ・土砂置き場などの仮設ヤードについては水道事業所において、事前協議している箇所「有」、工事着手前に監督員と協議を行うものとする。

11. 用地境界の復元

- ・工事に伴い撤去した境界プレート等は、工事完了までに復元すること。

12. 公害関係

- ・騒音・振動防止のための施工方法等の制限「有」
- ・粉塵防止のための施工方法等の制限「有」
- ・排出ガス防止のための施工方法等の制限「有」  
一般工事用建設機械 8 機種等
- ・小中学校、幼稚園、近隣住民への騒音・振動・防塵対策を十分行うものとし、それに付随した検証・対策・清掃等を実施するものとする。

13. 安全対策関係

- ・交通誘導警備員の計上「有」  
交通誘導員 A 33 人 B 33 人

14. 積載超過防止対策

- ・積載超過防止対策「有」
  - ①土砂及び工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
  - ②過積載を行っていると思われる資材納入業者から資材を購入しないこと。
  - ③積載超過防止対策の方法を施工計画書「交通管理」等に明記するとともに、「安全訓練等の実施状況」に準じ点検記録を作成すること。
  - ④「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下法という)の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
  - ⑤下請け契約の相手方または資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者または業務に関しダンプトラック等によって、悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

15. 仮設関係

- ・任意仮設工「有」  
任意仮設は以下のとおりとするが、受注者は契約後速やかに具体の仮設方法を立案し、発注者へ提出すること。  
工種：防塵対策工 種別：ダンプ泥落装置湿式（現場）85 台・日  
工種：防塵対策工 種別：防塵処理工（現場）散水車 33 回

16. 土捨て場（処理場）

- ・土捨て場の箇所「有」  
本設計は見積積算により残土処理費を計上した残土処分としている。  
但し、日々地域の情勢が変化することから、工事着手前に監督員と再協議し、最終決定とする。

17. 工期は、令和 5 年 8 月 31 日までとする。

18. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等

- ・ 本工事における新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等について、「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（国土交通省）」等を参考に適切に対応すること。

なお、工期の見直しやこれに伴い必要となる請負代金額の変更、一時中止の対応等が必要となる場合は、監督職員と協議すること。

19. その他

- ・ 現場代理人の兼務

本工事は、現場代理人の兼務に関する取扱い（令和3年3月8日付け出総第341号。以下「兼務に関する取扱い」という。）に基づき、2件の工事で現場代理人を兼務できる対象であり、工事請負契約書別記第10条第3項に基づき現場代理人について工事現場における常駐を要しないものとする。

- ・ 監理技術者の兼務

本工事は、監理技術者の兼務に関する取扱い（令和3年3月5日付け出総第337号）に基づき、2件の工事で監理技術者を兼務できる対象である。

- ・ 主任技術者・現場代理人

2級以上の土木施工管理技士をおき、工事の安全に十分に留意すること。

- ・ 本工事は、東日本大震災関連「被災地復興係数」を計上している。

- ・ 本工事は、「真夏日係数」を計上している。工期100日、真夏日30日を計上。

- ・ 地域補正は、「一般交通影響あり②」を計上している。

- ・ 本工事は、東日本大震災により整備した「鶴住居地区区画整理区域」に近接し、小学校、中学校、幼稚園等の学童施設のほか、被災者の再建住宅（新築住宅）が近接している地域である。

工事実施には十分な報告・連絡・相談・協議・調整・検証・対策が必須であると留意し、工事実施のこと。

- ・ 工事箇所、搬出土砂の経路等において、学童、歩行者及び地域住民に周知し安全管理を徹底すること。

- ・ 本工事及び本特記仕様書に関して疑義の生じた場合は、その都度監督職員と協議することとし、その他不明な点があるときは、その都度監督員の指示を受けること。